

令和8年3月30日

令和7年度第2回 川西市立学校のあり方審議会 資料

これまでの取り組みについて

- | | |
|--------------|--------------------|
| 12月13,14日 | 第2回地域説明会 |
| 1月19日 | 第6回懇話会 |
| 1月26日 | 清和台南小学校 児童との意見交換会 |
| 2月2日,3月5日 | 清和台小学校 児童との意見交換会 |
| 2月4,5,19,20日 | 小学校保護者 意見交換会 |
| 2月3日~26日 | 保護者対象 アンケート |
| 2月3日 | 川西養護学校 教職員との意見交換会 |
| 2月10日 | 川西養護学校 保護者サロン |
| 2月16日~3月13日 | 川西養護学校 保護者との意見交換会 |
| 3月1日 | 未就学児,小学生保護者との意見交換会 |
| 3月6日 | 清小・清南小 新1年生入学説明会 |
| 3月23日 | 第7回懇話会 |

目次

1. 地域説明会での意見等について

2. 川西養護学校との意見交換について

3. 清和台地区保護者との意見交換について

4. 清和台地区児童との意見交換について

5. 今後のスケジュールについて

第2回地域説明会資料

教育委員会の考え

「川西市立学校のあり方基本方針」に基づき、清和台小学校と清和台南小学校の児童がひとつの学校でともに学ぶ環境をめざす。その運営場所や開始時期に関しては、今後、少子化が見込まれる状況において、清和台地区の子どもたちが将来にわたって質の高い教育を受けられるように、引き続き、保護者や地域の意見を聞きながら進めていく。



具体的な理由

1. 学校教育においては、子どもたちがそこに集う人々を含め、多様な価値観に触れ、互いを認め合い、協力し合う経験を通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばす教育環境をつくるのが重要である。このような教育環境を実現するためには、ひとつの学校でともに学ぶ環境が望ましい。
2. 各学年が複数クラスとなり、人間関係の固定化を防ぎ、トラブルが発生した場合でも関係の再構築に繋げることができる。
3. 清和台地区内は、児童が通学可能な距離である。また、必要に応じて通学支援を行うことで、環境の変化により通学の負担が大きくなる児童に対応できる。

第2回地域説明会資料

①教育環境と運営場所について

清和台小学校と清和台南小学校の2校がひとつの学校でともに学ぶ環境として、以下の3パターンの教育環境を中心に検討し、それが実現できる場所を選択していきます。

- A 小学校のみの基本的な教育環境
- B 中学校とのより密接な連携が可能な教育環境
- C 中学校及び特別支援学校との多様な学びが可能な教育環境

地域説明会での意見 《ひとつの学校にすることについて》

質問

①今後の児童数推計を見ていると、2校がひとつになっても単学級になる可能性が出てくると思うが、小中一貫校なども検討しているのか。小中一貫校のメリットも教えてほしい。

⇒児童数は減少傾向のため、今後、単学級になる可能性がある。そのため、**小学校2校のみで考えるのではなく、小中一貫校とし、中学生も一緒に校舎で学び、縦のつながりを充実させるという考え方もある。**小中一貫校のメリットとしては、小学生は中学生の姿を身近に感じることで学びのモデルを知り、中学生は小学生に優しく接することで思いやりの心を育むなど、良い効果が期待できる。

また、9年間で一貫したカリキュラムが組めることもメリットだと考えている。

②統合することで、先生の負担がどれだけ減るのか。

⇒複数で学年を見ることが出来るので、学年運営や行事がより円滑に進められ、教職員が増えることで校務分掌の1人あたりの負担が軽減される。

③新しい学校のスタートは何年後に設定しているのか。

⇒3パターンのどれになるかによって時期が異なる。**増築などの工事が必要な場合は、設計、工事などを考えると、決定してから丸3年以上はかかる。**

地域説明会での意見 《ひとつの学校にすることについて》

意見

- ①子どもも先生も少ない状態で続けるのは良くないと思うので、統合には賛成。スクールバスなど、通学支援は考える必要がある。
- ②川西養護学校と一緒に校舎にすることは、養護学校の子も、もっと交流することを望んでいたため、とても良いと思う。
- ③清和台のまちづくりの観点でも、新しい学校が子どもたちにとって魅力的な学校になるように進めてほしい。
- ④子どもの意見の中には反対の意見もあると思うので、先生方にもフォローしていただき、不安がなくなるように、両校の交流をできるだけ多く開催してほしい。

地域説明会での意見 《通学支援、まちづくりについて》

質問

- ①スクールバスを走らせる予定もあるとのことだが、どのような運用方法なのか。
⇒まだ、スクールバスを運用すると決まったわけではないが、選択肢のひとつとしている。運行時間などの詳細については、今後、保護者のニーズを聞きながら相談して決定していきたい。

質問・意見

- ①今後、まちづくりに関してはどのように進めていくのか。
⇒今後、コミュニティの方々と、どのように進めていくのかも含めて、相談していきたいが、
市長部局が中心となり、地域の方の意見を聞く場をつくっていく。
- ②川西市や清和台のまちづくりの方向性などが決まっていれば教えてほしい。
⇒市全体としての考え方は、全国的な少子化に合わせたまちづくりを進め、公共施設も集約化していくというコンセプトである。学校の統合に関しても、子どもが減ったから統合するというマイナスの考え方ではなく、魅力的な学校を作っていくことをめざしたい。
- ③小学校は地域の核であり、避難所でもある。そのあたりも含めて考えてほしい。

地域説明会での意見 《その他の意見について》

質問

- ①子どもたちが授業を受けて意見交換をしていたのが良かった。学校規模を大きくすることについて、子どもたちの賛成、反対はどのような割合なのか教えてほしい。
⇒どちらの意見も出ていたが、だいたい6:4で賛成の意見が多かった。
- ②けやき坂小も児童数が減ってきていると思うが、一緒に考える必要があるのではないか。
⇒けやき坂小は検討する対象校ではないが、同じ中学校区のため、学校運営協議会には現時点での検討状況を説明に行った。
- ③2つの学校を1つにした場合の予算はどの程度かかるのか。コスト面でもメリットはあるのか。
⇒小学校1校あたりの運営にかかる予算は7000万程度のため、2校が1つになれば、その分が削減できる。また、統合の際にかかるコストに関しては、校舎の増築が必要かによって変わってくる。

目次

1. 地域説明会での意見等について

2. 川西養護学校との意見交換について

3. 清和台地区保護者との意見交換について

4. 清和台地区児童との意見交換について

5. 今後のスケジュールについて

川西養護学校について

川西養護学校は、川西市及び猪名川町在住の児童生徒が通う特別支援学校です。肢体不自由のある児童生徒を対象とし、一人ひとりの障がいや心身の発達に応じた教育を行っています。必要に応じて医療的ケアも行っています。

1. 川西養護学校児童生徒数(令和7年度12月末時点)

学年	小学部						中学部			高等部			合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
人数	2	4	6	2	0	1	0	3	2	1	3	0	24
クラス数	6						2			2			10

《居住地》

・川西市在住 ……16名 ・猪名川町在住…… 8名

2. 校舎について

- ・建築年度 1977年(昭和52年)
- ・経過年数 48年

【参考 川西市公共施設総合管理計画(R7.9)】

川西養護学校(11月27日)

第2回地域説明会の資料を用いて、学校運営協議会で説明。
川西養護学校も一緒に検討していく可能性がある旨を伝え、意見を伺った。

川西養護学校の方の意見

- ①川西市中心部から離れていて、放課後等デイサービスを断られたことがあったため、新学校を検討する際は、場所も含めて検討してほしい。
- ②猪名川町からの通学を考えると、清和台は中間地点が良いが、医療・福祉との連携には課題がある。
- ③川西養護学校はこれからも清和台地区で共存していくと考えている。(清和台住民の方)
- ④C案が望ましい。毎日同じ敷地内で顔を合わせることによってお互いの理解が深まり、障がいのある方が安心して暮らせる社会へとつながると感じる。
- ⑤地域の中に障がいのある子どもが当たり前にいるということになってほしい。

川西養護学校保護者の意見

【実施日】 ほごしゃサロン 2月10日(火) 10:00~11:00

【参加人数】 5名(小学部3名 中学部2名)


【実施日】 2月17日(火)~3月13日(金)

※保護者個人懇談後に個別に実施

【実施人数】 小学部11名


場所について

- ①清和台は猪名川町からも通いやすい場所で、とても良いところだと思う。
- ②別の地域に移るとなると、一から住民の声を聞くところから始める必要があり、スクールバスや送迎車の通行について理解してもらっている清和台が良いと考える。
- ③川西には重度の子どもが通える放課後等デイサービスの数が少ない。学校の場所が変わることで、現在通っている事業所に通えなくなる可能性もあるため、学校の場所は変わらない方が良い。
- ④放課後等デイサービスや自宅からの送迎を考えると南部にある方が嬉しいが、現実的には難しいだろうとも理解している。
- ⑤自家用車を持っていない保護者にとっては公共交通機関が通っている場所が良い。
- ⑥仮設で一時的に不便になることは仕方ないと理解している。しかし、我が子は特に体温調節が自分でできないので、夏や冬の空調機能などは、仮設の場合でもしっかり確保してほしい。
- ⑦仮設は建てずに、統合で空いた小学校の敷地に養護学校を新設し、一度の移動で済む形が理想だと思う。環境の変化に敏感な子どもが多いので、負担を減らす工夫ができれば良いと思う。

- 
1. 清和台は川西と猪名川の間地点に位置しており、場所として適している。
 2. スクールバスや送迎車の通行について地域の理解が得られている清和台が望ましい。
 3. 仮設校舎は、子どもに負担がかからないよう、安全に過ごせる環境は確保してほしい。

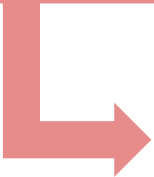
今後の教育環境について

- ① 普段から接することで障がいについて理解してもらえると嬉しい。地域全体で理解が深まることを望んでいる。障がいのある子が「いて当たり前」の状態になると良い。
- ② C案であれば交流が増え、学校が活発で明るい雰囲気になると感じる。今も、地域の学校と交流した際には、子どもが楽しそうにしており、刺激を受けている。
- ③ 今よりもいろいろな先生に出会える点も良いと感じる。小・中学校の先生たちにも川養を知ってもらえる。また、同学年で知り合える保護者も増えて良いと思う。
- ④ C案の場合は、川養の敷地もつなげて考えられるため、グラウンドも使用できそう。ぶつかったりすると危険なため配慮は必要だが、広く活動できる場所があることはありがたい。
- ⑤ 小・中学校との交流においては、先生方には子どもの状況をよく理解し、子どもが嫌な思いをしないように配慮して交流してほしい。
- ⑥ 交流は、あまり望んでいないため、交流したい子だけ参加すれば良い。
- ⑦ 感染症に弱い子もいるため、全員が同じように交流を増やすのは難しいのではないか。子どもも先生も行き来が増えると感染リスクが高まる可能性がある。

- 
1. 日常的に接する機会を増やすことで、障がいに対する理解がより深まる。
 2. C案であれば、児童間の交流が増え、先生や保護者との新たな出会いも期待できる。
 3. 交流は、児童一人ひとりの状況や特性を十分に配慮しながら進める必要がある。

建物について

- ①早急に改善してほしい部分も多い。今の環境を整備しつつ、新しい学校について考えてほしい。
- ②校舎については医療的ケアを必要とする児童生徒が通うことを前提に、**バリアフリーであることに加え、川養として独立した生活エリアを確保してほしい。**
- ③スクールバスや放課後等デイサービスの車両が複数台通行することになり、**小中学校の登下校の児童生徒と動線が重なり危険である。出入口は別々にし、安全を確保してほしい。**
- ④仮にC案のように校舎を一緒にして利用する場合でも、**川養が目立たない場所へ追いやられる形はしたくない。自然に混ざり合い、無理なく交流できる環境になってくれるとうれしい。小学校のように、明るく開放的な場所にあるのが理想である。**
- ⑤駐車場は広く整備してほしい。風雨を防げる乗降場所の確保や、福祉車両が十分に駐車できるスペースが必要。特に遠方から来る保護者にとっては、現状では駐車する場所がないため改善してほしい。
- ⑥他市の特別支援学校で良い設備があればぜひ取り入れてほしい。

- 
1. 感染症や医療的ケアが必要な児童生徒がいるため、ある程度独立した生活エリアを設けることが必要。
 2. 安全性確保のため、出入口を分けるなど、動線の工夫が必要。
 3. 駐車場を広く整備してほしい。また、最新の設備があれば、取り入れてほしい。

川西養護学校教職員の意見

【実施日】 2月3日 15:45~16:15

【参加人数】 28名


建物、場所について

建物について

- ①床がコンクリートの上にカーペット敷きで寒い。密封性もないため、体温調整に支障がある子どもにとって辛い。今の最新の設備ではないため、安全面でも不安がある。
- ②現在、移動手段はエレベーターと階段のみであるため、2階で授業を行っている際にエレベーターが故障した場合の避難経路が心配。
- ③現状では学校にバスを常駐させるスペースがなく、登下校時に付きそう支援員の負担が大きい。バスが常駐できる広さの駐車場が必要である。
- ④医療的ケアが必要な子どもが多いため、他の小学校と同じフロアで生活することは難しい。感染症のリスクを考慮し、建物やフロアを分けるべきである。

場所について

- ①南部は猪名川の子どもにとって遠く、通うのが難しいと思う。猪名川の生徒が1時間以上バスに乗る状況は厳しいと思う。
- ②こどもたちの社会体験が少ない現状がある。歩いてトナリエ（商業施設）に行っているが、買い物体験できる施設が近くにあると学習面で良いと感じる。

- 
1. 子どもたちが安全に過ごせるような設備が整った施設にしてほしい。
 2. 南部は猪名川の子どものことを考えると難しいため、課題もあるが清和台が良い。


今後の清和台地区の教育環境について

C案の教育環境について

- ① C案のように日常的に一緒にいることで、小学生の頃から自然に互いを理解し、偏見を持たずに育つ環境がつくられると思う。共有スペースが設けられていると、さらに交流が深まると感じる。
- ② 小中学校との交流は少なく、年に1回程度しかないため、交流できる環境が望ましい。
- ③ C案の場合、医療的ケアが必要な子や車椅子を使用している子がいるので、ぶつかると危険である。ただ、その点についての運用は今後検討すればよい。
- ④ 交流をどこまで求めるかによって、校舎のつくりも変わる。
- ⑤ 新設する際の仮設の場所が課題である。どこかの学校をそのまま使用することは難しい。

※小学校と特別支援学校が一緒になっている学校に勤務していた方の意見

- ① 通常の学級に支援学校の子の時間割が貼ってあり、朝の会も一緒にしていた。通常の学級の一員として生活できていたので、とても良かった。
- ② 自身の経験では、教職員間で困ったり負担が大きくなったりすることは特になかった。

- 
1. 日常的に交流できる環境になるのは良い。
 2. 校舎の建て方や交流の方法については、安全が確保できるように検討が必要。

目次

1. 地域説明会での意見等について

2. 川西養護学校との意見交換について

3. 清和台地区保護者との意見交換について

4. 清和台地区児童との意見交換について

5. 今後のスケジュールについて

小学校保護者意見結果 まとめ

清和台小学校

実施日 2月5日(木) 授業参観、学級懇談後に実施
意見交換できた人数 70名(家庭数140) 回答率50%

清和台南小学校

実施日 2月4日(水)、19日(木)、20日(金) 授業参観、学級懇談後に実施
意見交換できた人数 73名(家庭数141) 回答率52%

アンケート(未就学含む)

実施日 2月3日(火) ~2月26日(木)
回答数 44

保護者意見の傾向

- ・少子化の進行が予測される中で、B案やC案を選択し、より魅力的で良い学校づくりを目指してほしいという意見が多く見られた。
- ・単学級の状況を解消するために、速やかに学校の統合を進めてほしいという意見も一定数見受けられた。

未就学保護者意見結果 まとめ

意見交換会

実施日 3月1日(日) 10:00~11:00

参加人数 11名 清和台公民館

新1年生保護者

入学説明会にて、今後の流れについて説明（小学校在学中に統合する旨を説明）

実施日 3月6日(金)

参加人数	清和台小学校	25名
	清和台南小学校	23名

保護者意見の傾向

- ・小学生の保護者と同様に、B案やC案を望む意見が多かった。
- ・入学説明会で話を聞いた新1年生の保護者からは、単学級に対する不安があるため、統合を進めるならなるべく早く実施してほしいという声があった。
- ・市として、子どもを増やす施策を実施してほしいとの意見もあった。

A案について

良い点

- ①とにかく早く統合してほしい。単学級を早く解消してほしい。前回の統廃合の議論から何年も時間が経っており、これ以上は待てない。子どもにとって大切な時期なのでスピード感を持って取り組んでほしい。
- ②小学校と中学校で環境を変えた方がメリハリが付くので、小学校だけの統合が良い。
- ③小学生だけの方が、子どもがのびのびと学校生活が送れると思う。
- ④初期費用が最も少ないものを選ぶべき。浮いたお金をスクールバスなどに投資してほしい。

懸念事項

- ①子どもが今後も減っていくのであれば、また単学級になって同じ状況になってしまうのではないか。
- ②普通の小学校になるだけ。どうせなら、子どもにとって魅力的な学校を作してほしい。
- ③どちらかの学校を使うとなると、通学距離で不公平感が残る。

B案について

良い点

- ① 中学校と連携できることは魅力的に感じる。中学校に早く慣れることができそう。
- ② 将来を見て、子どもたちにとって良い学校を作してほしい。
- ③ 今後も人数が少なくなるのであれば、小中一貫校にすれば良い。
- ④ 中学生に引っ張ってもらえるような学校にしてほしい。中学生も小学生と一緒にになれば、責任感がでて良いのではないか。
- ⑤ 運動会などの行事も、小学校と中学校で一緒にできたら盛り上がりそう。

懸念事項

- ① 中学生の悪い影響を受けるのではないかと心配。
- ② 小学校と中学校で環境が変わらないことは良くないのではないか。
- ③ 小1と中3では、年齢が離れすぎていて、体格差も大きいため心配している。建物としての設備や遊具なども小学生に合ったものにできるのか心配。
- ④ 中学生と合同で使用するとグラウンドが狭くなり、のびのび遊べないのではないかと心配。
- ⑤ 中学生も一緒になると、人数が多くなりすぎるのではないか。
- ⑥ 給食が自校式でなくなってしまうのではないかと心配。

C案について

良い点

- ①障がいのある子と小さいうちから関わることで、お互いを理解でき、偏見もなくなり、とても良いと思う。
- ②どうせ統合するなら、みんな一緒に生活できる環境が良い。
- ③多様性を学べる。いろいろな立場の人と出会って学べる環境の方が良い。
- ④話題性があるので、清和台のまちづくりのためにも良いのではないかな。

懸念事項

- ①川養の子にぶつかったり、感染症をうつしてしまったりと、危険なことが起こらないか心配。
- ②時程や行事がそれぞれの学校で違うため、中学校のテスト週間や受験前など、うるさくならないか心配。
- ③川西養護学校の保護者や先生がどのように思うかが大切だと思う。
- ④C案のイメージがわからないため、何が良いのかわからない。

その他

通学面

- ①通学支援(スクールバス)があるなら、どの案になっても良い。
- ②どの案でも、学校が遠くなるのであれば、低学年の登校が心配。
- ③大きな道路を渡らせるのが心配。

跡地

- ①跡地活用が一番気になる。ほったらかしになると、まちの雰囲気が悪くなると思うので不安。
- ②跡地は子どもたちが活用できる公園にしてほしい。子どもたちが遊べる場所がなくてかわいそう。地域の方の意見を聞くのも大切だが、子どもたちにとって良いまちにしてほしい。

その他

- ①残り1年(6年生)で学校が変わるのは辛いと思う。
- ②統合すると決まったなら、体操服など、統一するものは早めに統一してはどうか。

目次

1. 地域説明会での意見等について

2. 川西養護学校との意見交換について

3. 清和台地区保護者との意見交換について

4. 清和台地区児童との意見交換について

5. 今後のスケジュールについて

児童との意見交換について 《2学期》

『清和台地区の学校の「これから」を考えよう』 学習の流れ

時期 7月～10月上旬

対象 清和台小学校、清和台南小学校 4～6年生

学習の流れ

- ①清和台地区の学校の現状について学ぶ。
- ②他校との交流を通し、学校生活の様子を聞き、様々な規模の学校がある事を学ぶ。

クラスの数が多い学校 … 東谷小学校、清和台中学校

クラスの数が少ない学校 … 楊津小学校、大島小学校（猪名川町）

統合した学校 … 義務教育学校両荘みらい学園（加古川市）

- ③経験や他校との交流で得た知識から、自分の考えをまとめる。
- ④まとめた自分の考えをグループで発表し、交流する。

学習の様子

学習の様子（清和台小）



《清和台小学校ホームページより》

学習の様子

学習の様子（清和台南小）



児童の意見

このままの方が良いという意見

- ①クラス替えで仲の良い友達と離れるのが寂しいし、新しいクラスになったときに友達ができるか心配。
- ②これまでずっと同じメンバーだから絆が強いと思う。
- ③クラスや人数が少ない方が落ち着くからいいなと思った。
- ④人数が多いとうるさくなりそうだし、同じ学年の友達全員の名前も覚えられなくなる。運動場も狭くなるから少ない人数の方が良い。
- ⑤もう少し人数が増えても良いが、今は人数が少なすぎるわけでもないのでもうままで良い。特に困ったこともない。

学校規模が大きい方が良いという意見

- ①クラス替えをしてみたい。いろいろな人と仲良くなりたいし、新しい出会いを経験することで、中学生や大人になった時に役立つと思う。
- ②クラスの数が多くなればにぎやかになり、新しい友達が増えて楽しそう。遊びも、人数が多くなるとできることが増えそう。
- ③人数が増えれば、同じ趣味を持つ人が増えて友達もできやすいし、相談に乗ってくれる人も増える。
- ④先生の数が増えると、いろいろな先生と話せたり仲良くなれたりして楽しそう。
- ⑤クラスが増えると、運動会のリレーやダンス、音楽会など、行事が盛り上がる。

どちらとも言えない意見

- ①それぞれの学校に良い点や困った点があることがわかった。今は困ったことがないからどちらがよいかわからない。
- ②人数が少なすぎると友達ができないし、多すぎると名前が覚えられないので、少なすぎても多すぎても困る。
- ③人数が多くても少なくても楽しくやっていけそうだから、どちらでも良い。
- ④人数やクラスの数に関係なく、みんなが仲良くできる学校がいい。
- ⑤統合しても楽しそうだけど不安もある。もし統合するなら、どんな子が知らないと不安なので、まず会って一緒に遊ぶなど、交流して仲良くなりたい。

児童との意見交換について 《3学期》

清和台小学校

授業日 2月2日(月)【4, 6年】
3月5日(木)【5年】

清和台南小学校

授業日 1月26日(月)【4, 5, 6年】

授業の流れ

- ①12月の地域説明会で説明した「2つの小学校がともに学ぶ環境をめざす」という方針を伝える。
- ②2つの小学校が仲良くなるために、どのような交流をしたら良いと思うか考える。
- ③ふりかえり



授業の感想

なかよくなるためのアイデア

- ①一緒に遊ぶ(鬼ごっこ、ドッジボール、クイズ大会、サッカー、学校に一泊 など)
- ②一緒に授業をする(調理実習、工作、体育、クラブ活動、算数教え合い)
- ③校外学習と一緒に行く、一緒に弁当・給食を食べる
- ④清小祭り、清南小祭りに招待する。
- ⑤クリーンアップ作戦など、地域も参加する行事を一緒にやる。

授業の感想

- ①清和台小と清和台南小がこれからどうしていくのかをちゃんと聞いてよかった。
- ②学校が統合することで課題もあることがわかった。いろんな課題を乗り越えていい学校ができる
といいなと思った。
- ③初めに聞いた時は不安に思ったけど、「どんなことをしたら楽しいか」を考えるとアイデアがたくさん出てきて、とても楽しみになった。
- ④みんなで話し合ったら、ちょっとは安心できた。不安なこともあったけど、少しおもしろそう・わくわくするなと思った。
- ⑤3つの案を聞いたけど、まだちょっと心配もある。

目次

1. 地域説明会での意見等について

2. 川西養護学校との意見交換について

3. 清和台地区保護者との意見交換について

4. 清和台地区児童との意見交換について

5. 今後のスケジュールについて

今後のスケジュール(イメージ図)

令和8(2026)年～

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
懇話会	第6回		第7回		第8回		第9回	第10回
意見収集	保護者・子ども 対象 意見交換会							
意見収集 (教職員)		川西養護		清小	清南小	川西養護		
説明会								第3回

※日程は目安です。

教育環境と運営場所、開始時期、通学支援などの協議事項について、教育委員会の案を提示します。